

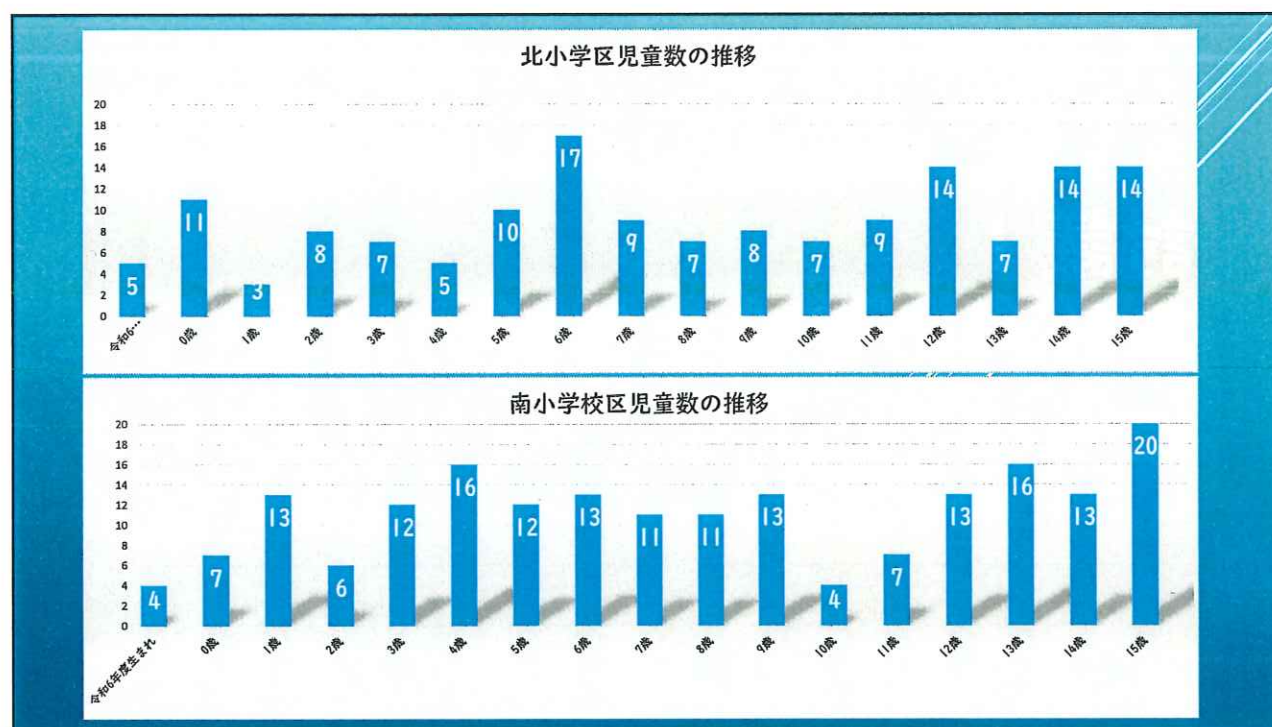
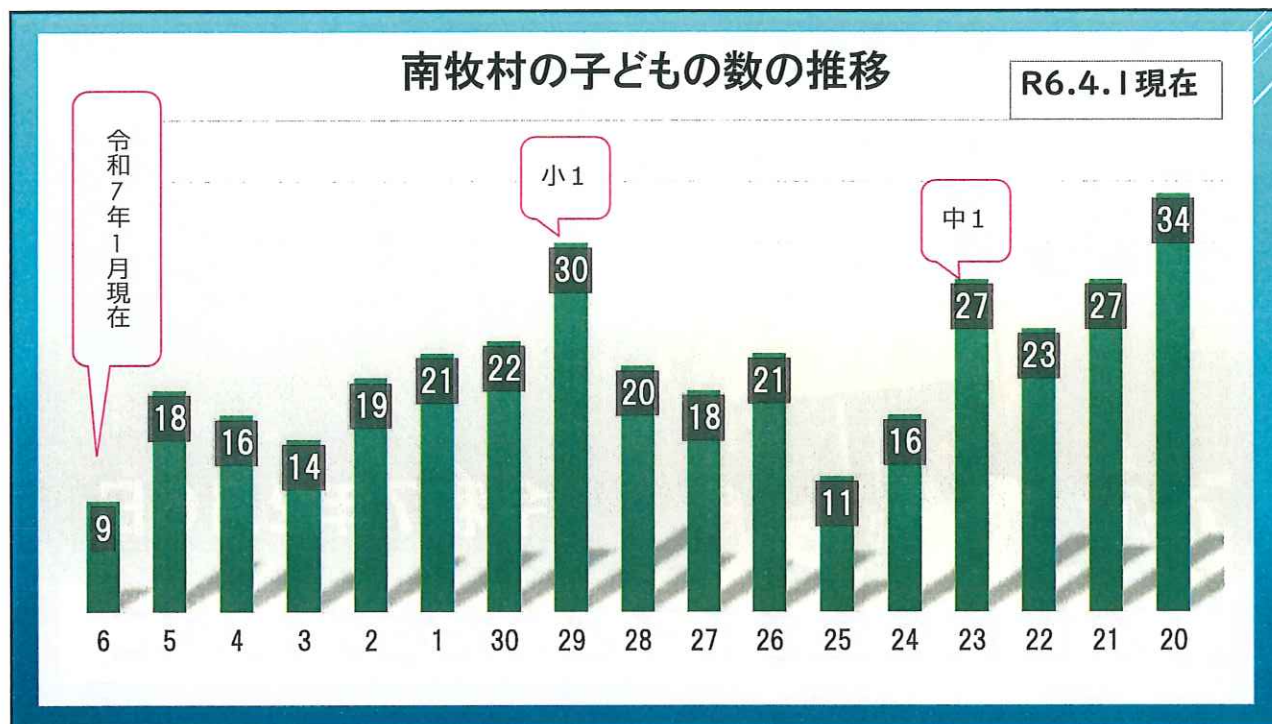
第2回 南牧村小中学校 建設検討委員会



令和7年2月6日

次世代を生きる子どもたちのために

討議Ⅰ
南牧村の児童生徒数の推移
について

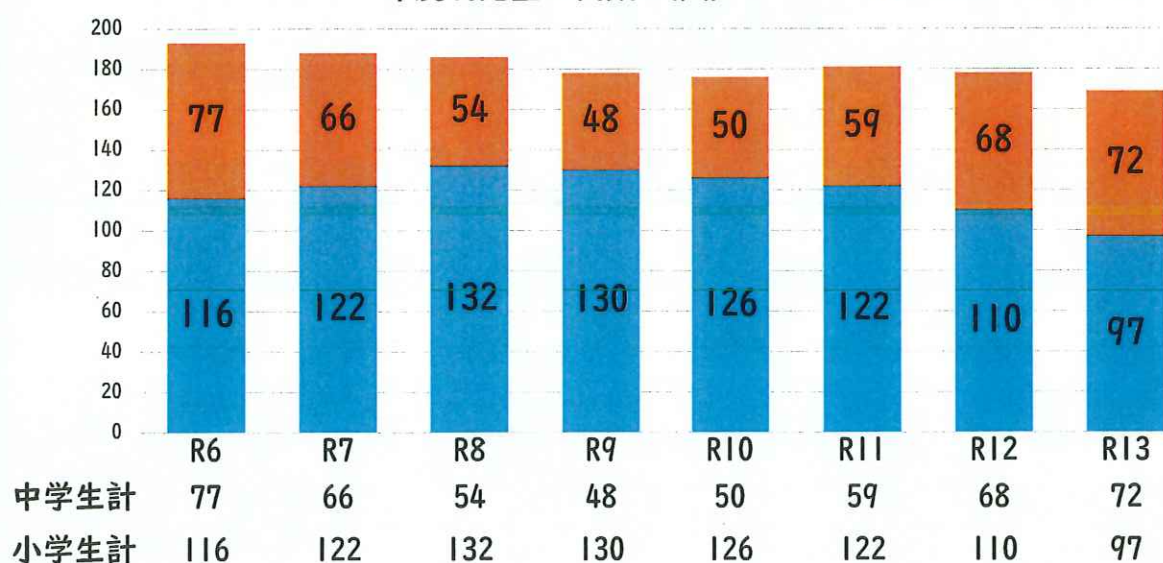


年度別 児童生徒数の推移

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
小学生	小1年	30	22	21	19	14	16	18	9
	小2年	20	30	22	21	19	14	16	18
	小3年	18	20	30	22	21	19	14	16
	小4年	21	18	20	30	22	21	19	14
	小5年	11	21	18	20	30	22	21	19
	小6年	16	11	21	18	20	30	22	21
中学生	中1年	27	16	11	21	18	20	30	22
	中2年	23	27	16	11	21	18	20	30
	中3年	27	23	27	16	11	21	18	20
	合計	193	188	186	178	176	181	178	175
	小学生計	116	122	132	130	126	122	110	97
	中学生計	77	66	54	48	50	59	68	72
	前年比		-5	-2	-8	-2	5	-3	-9
	R6比			-7	-15	-17	-12	-15	-24

年度別児童生徒数の推移

■小学生計 ■中学生計



討議 I

平成28年12月に出された
南牧村学校づくり検討委員会
の答申について

南牧村学校づくり検討委員会の答申
「現在ある2校の小学校を統合
し、統合小学校と中学校におい
て特色ある小中一貫教育を目指
す。」

意見

- ①児童生徒にとって最も望ましい教育環境を早急に実現するため、小中一貫教育の研究を深め、ふるさと学習などを中心とした南牧村の学校教育ビジョンが確実に実施されるように努められたい。
- ②統合にあたっては、新しい学校施設を建設されたい。
- ③建設地は、既存の小中学校敷地または新設も含め、最も適切な場所を選定されたい。
- ④児童生徒の通学手段は、総合的に村が講じられたい。
- ⑤新たな学校は、放課後、自習できるスペースや、児童クラブ等の多目的な施設を併設されたい。また、他の公共施設との複合化や住民の交流の場となる学校を拠点とした地域コミュニティの形成に資するものとされたい。
- ⑥厳しい冬期間、児童生徒が運動の機会を確保できる施設を造られたい
- ⑦学校がなくなる地域の振興に配慮されたい。
- ⑧今後も住民、保護者の声を積極的に聴取し、丁寧な合意形成を図られたい。

討議2

次世代を生きる子どもたちが どんな人になってほしいか



R 6 年6月に開催した
保護者・地域懇談会で
教育委員会が提案

これからの南牧村の学校 昨年3回シリーズでワークショップを開催



- どんな子どもに育ってほしいか
- 学校教育に望むこと
- 新しい学校について
- 義務教育学校について
- 学校の施設について
- 地域との協働について
- 環境・安全について
- 南牧村の未来について

等



ワークショップで出された南牧村の子ども の未来像



- 他者を認めながら多様性を認め、自分の考えを持ってほしい
- 既成概念にとらわれない自由な発想
- ギャップやストレスを乗り越えられる力
- 失敗してもくじけない
- 人の痛みがわかる
- 駄目なことといいことがわかる
- 本質を見抜く力
- 人間関係を築く力
- 物怖じしない子
- 自分の考えを発信できる力
- コミュニケーション能力
- 自主性を育てる
- いろんな人と関わる
- 協調性

次世代を生き抜く子どもを育てる



- 自分も相手も大切にできる子
- 想像力を働かせ、自分で考えて判断できる子
- 南牧村を愛する子
- チャレンジする勇気が持てる子

自分も相手も 大切にできる子

自尊感情

他人を認め
他者を尊重



想像力を働かせ、自分で考えて 判断できる子

自分の頭で考える

自分で判断して
選んでゆく力



南牧村を愛する子

郷土愛



チャレンジする勇気が持てる子



あきらめない
やり続ける



努力・
忍耐

失敗したら
やり直す

- 自分も相手も大切にできる子
- 想像力を働かせ、自分で考えて 判断できる子
- 南牧村を愛する子
- チャレンジする勇気が持てる子



**地域みんなで子どもを育てる
大人も学ぶ
共育ち・共学びの村**

グループ毎に意見交換

**次世代を生きる子どもたちが
どんな人になってほしいか**

各グループの司会者を中心に話し合いを進めてください。

教育委員会で作成した「めざす子ども像」を参考にしてください。

発言した内容を付箋に記入し、模造紙に貼ってください。次回までにまとめさせていただきます。

各グループの意見交換の内容を発表していただき、共有します。発表者は準備をお願いします。

ワークショップの約束

ポジティブな言葉を

○その考えいいですね

○そうですね ○私も同じです

○ほかの考えもあります

○こんな考え方はどうでしょう

討議3

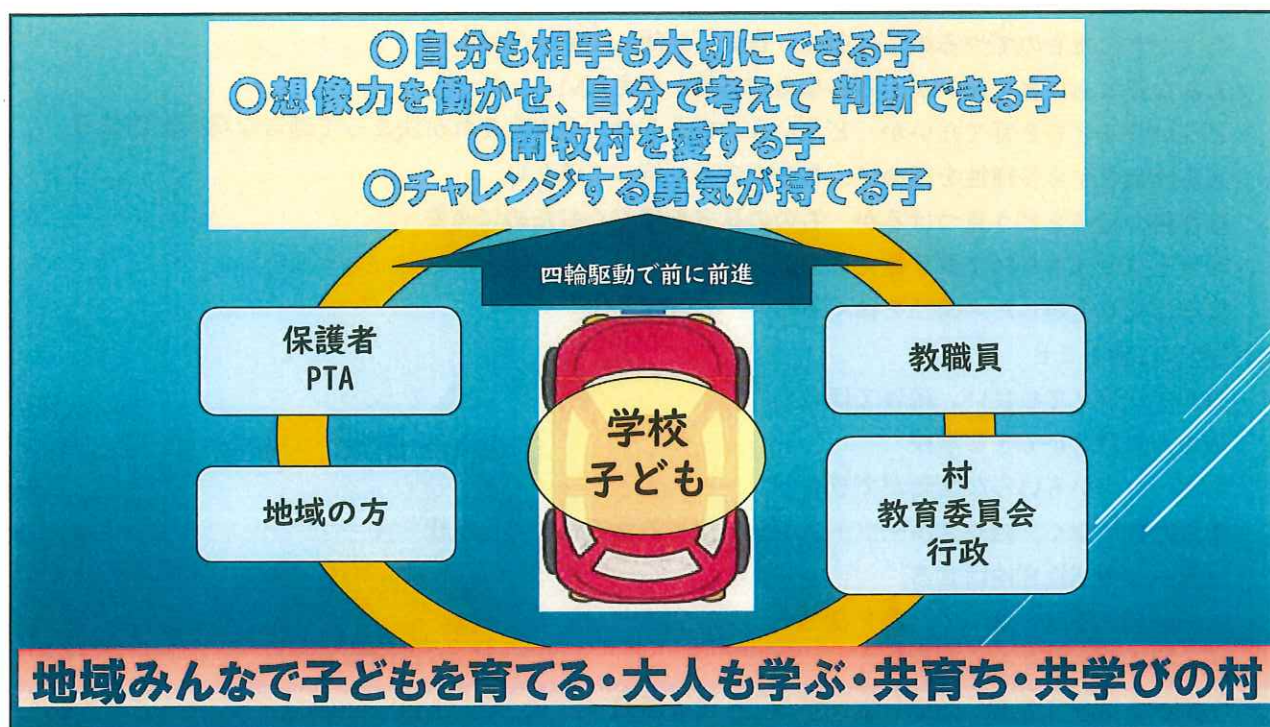
南牧村の子どもにとって どのような学びが必要でしょうか？



令和5年度『これからの南牧村の学校』（ワークショップ）で出された【学び】についての意見
配布資料 P16～P18をご覧ください。

学校が取り組んでいること

- **子どもが学ぶ学習(探究的な学び)**
 - ・先生が教える授業からの脱却
- **「もの」「人」「こと」とリアルに関わる**
 - ・総合的学習の時間・生活科の充実
 - ・学校から出る学習・村の人が先生
- **一人ひとりが「安全」「安心」「自由」な学校**
 - ・困ったことを相談できる体制づくり
- **小さな集団から大きな集団へ**
 - ・異年齢連携・小小連携・小中連携・地域連携



グループ毎に意見交換

南牧村の子どもにとって どのような学びが必要でしょうか？

- ▶ 各グループの司会者を中心に話し合いを進めてください。
- ▶ 机にある教育委員会で作成した「めざす子ども像」を参考にしてください。
- ▶ 付箋に発言した内容を記入し、模造紙に貼ってください。次回までにまとめさせていただきます。
- ▶ グループ毎の意見交換の後、発表していただき、共有します。発表者は準備をお願いします。

南牧の子どもにとってどんな学びが必要か 【資料】

7月24日（月）「第1回これからの南牧村の学校」で出された意見

○どんな子どもに育ってほしいか

あてがわれたものでやるのではなく、自分で発想してやってほしい。

どんな子どもに育てたいか どんな力が必要か考えたい

どういう子どもを育てたいか どういう教育をさせたいか それが決まって適当な場所が決まる

人を認めながら多様性を認めて、自分の考えを持ってほしい

多様性の接点をどう見つけるか ものの見方をはぐくむために必要

ギャップやストレスを乗り越える力があるといい

何十年先を見越した人間性をはぐくむ

○学校教育に望むこと

異学年交流とても良い。続けてほしい

畑のある食育ができる学校

スポーツ等いろいろな活動ができる

学力だけでなく、絵やスポーツ・スケートなど特色を生かせる学校

一人一人の個性を伸ばせる

豚の飼育 子豚を育てて、肉を食べる

羊を飼う 子羊を生んで育てる

チンゲン菜を育てる 売る 本にする 一連の活動

牛に触ってみる 地域の産業とは 交流

牛の出産 世話 自分で育てた野菜を収穫

酪農・農業の良さを知ってほしい

動物・植物を育てる活動ができる学校

牛・野菜・自然が身近に学べるのが南牧村

地域素材がたくさんあるから使ってほしい ジャングルパーク 湧き水 イワナの産卵

英語に特化した学校

○これからの取り組み等その他

今から音楽会などの交流を、合同で行っていく

子どもが少ないことを活かす

昔は道草がどこでもできた。今はバス通だから無理

学校の周りに冒険ができる環境が欲しい

他地域とのつながり

他地域では経験できない自然体験

郷土の財産を知ることが郷土愛をはぐくむことにつながる 子どもたちに見せたい

IT関係の人の話に触れさせたい

横浜から来た移住者の視点

子どもが出る機会が多い

南牧の子ども 南小は自由 北小はまじめ 全体的に素直

学年関係がよく、自分たちの学年以外のことも知っている

これからはいろんな人と接していく 一つの言語ではない

9月20日（水）「第2回これからの南牧村の学校」で出された意見

○どんな子どもに育ってほしいか

人の痛みが分かる
ダメなことといいことが分かる
人間関係を築く力をつけてほしい
社会の仕組みを学ぶ場にしてほしい
物おじしない子を育てたい
自主性を育てることが大事
コミュニケーションの能力をつける
ITを使いこなせる能力親もその能力をつける

○学校教育に望むこと

実体験が大事 総合や生活
良い思い出になるような教育が大事
いろんな交流が持てるとよい
他地域との交流ができるとよい
地域を越えて繋がれるとやりたいことができる
現代のスタンダードを学び場にしてほしい
教師は子どもの伴奏者
低学年と一緒に体育学習を一緒にするのは良い
北小の運動会 小さな積み重ね
今から合同で運動会や音楽会をやったらどうか
いじめはないではなく、あって当然。フォローが大事
人間関係でつまづく子どもたちへのケア
学校に行きづらい子どもの現状
子どもたちがどうしたいのかが大事
子どもの声があふれる授業
先生が得意なことややったことが原体験になって将来に繋がっていく
学校に行くのは友達がいるから
信頼できる先生がいることが大事
お楽しみのスポーツを取り入れてもいいのでは
タブレットでの学習はとても役に立つ
IT技術は大切 世界に遅れないように
合同部活動等 社会に適應できる教育が大事
中学生には他地域との交流を増やしてほしい
大会に出るスポーツでないもの
勝利至上主義でない 楽しめるスポーツをもっとやった方がよい

○これからの取り組み等その他

校舎じゃなくてどういう教育をしたいのかが先
登下校や道草で学べることが多くあった
スクールバスでの通学では社会の仕組みを学ぶ機会が少ない
人数を増やすのが大事
交換留学
子どもが中心になってどう思うのか大事に語りたい
教育内容の方向性を出すための議論をする

人数が必要

少人数だからたくさん発言できる良さがある。

少人数の良さを生かす 少ない人数で心配

11月25日（土）「第3回これからの南牧村の学校」で出された意見

○どんな子どもに育ってほしいか

いろんな人とかかわることが大切

多様性が認めあえる子どもたち

自主性をはぐくむ

ウェルビーイングな個人や社会

○学校教育に望むこと

関わり方を学ぶ 学びが深まる

多様な考えがたりない

ウェルビーイングは自然の中で育つ

課題 個別最適な学び

課題 主体的に学ぶ

南牧らしい風景や原体験を大切にした取り組み

総合的な学習を中心に

学年の枠をとった活動を増やす クラブ等

○これからの取り組み等その他

方向性を子どもに示すことも大切

認知能力と非認知能力

少しでも多い人数で学習してほしい

小学校だけでもまず統合

移住して子どもを通わせたい学校づくり

課題 少子化

課題 多様性を認めある学習環境

子どもにとって何が大事でどうしていくのがいいのかを忘れない

先生たちが来たいという学校にしたい

環境教育や地域づくり

南牧の特色を考え合う機会をつくる

課題 体力の低下 歩かなくなっている

公教育の役割

子どもが適応できるか

振り返りカード記入

- 1 南牧村の子どもの数の推移を聞いてどう思われましたか？
- 2 今日の会議に参加して、自分の考えが変わったり、付け加わったりしたことがあればください。
- 3 今後の学校建設検討委員会に望むことがあれば書いてください。

長時間ありがとうございました

名札 振り返りカードは、受付の箱に入れてください